

# 報 告

平成三年度大会の概況 日本思想史学会平成三年度大会は、十月二十六日(土)・十月二十七日(日)の両日、大阪大学を会場として開催された。

第一日は、研究発表が行われた。発表者は次の諸氏である。

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>1、空海における「法曼荼羅」の圏域</p> <p>2、西大寺叡尊の思想 —— 蒙古襲来前後の対外観について ——</p> <p>3、地藏信仰における法然</p> <p>4、『教行信証』にみる他力思想</p> <p>5、祇園牛頭天王の縁起について</p> <p>6、石田梅岩における老荘思想受容</p> <p>7、富士講と「日の本」「アマテラス」</p> <p>8、賀茂規清の経世論</p> <p>9、吉田松陰の尊皇論</p> <p>10、『源氏物語玉の小櫛』の出版事情</p> <p style="text-align: center;">—— 本居宣長と松平康定との関係・交流 ——</p> <p>11、篤胤の幽冥観</p> <p>12、上田秋成と『万葉集』 —— 山上憶良を中心に ——</p> <p>13、柳田国男における学問の目的と構造</p> <p>14、神道における創世観と現代宇宙論における接点</p> | <p>中央大学大学院</p> <p>東北大学大学院</p> <p>筑波大学大学院</p> <p>姫路独協大学</p> <p>神田外語大学</p> <p>筑波大学大学院</p> <p>東海大学</p> <p>東北大学大学院</p> <p>亜細亜大学</p> <p>愛知学院大学</p> <p>岩手大学</p> <p>金沢女子大学</p> <p>青森明の星短大</p> | <p>米田達也</p> <p>吉原健雄</p> <p>清水邦彦</p> <p>新保哲</p> <p>窪田高明</p> <p>大野高</p> <p>田尻祐一郎</p> <p>末永恵子</p> <p>東中野修道</p> <p>岡田千昭</p> <p>中村一基</p> <p>山下久夫</p> <p>成田育男</p> <p>小山恵子</p> |
|---|--|---|

発表終了後、総会が行われ、事務局より平成二年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて事務局より平成三年度事業計画および予算案が提案され、審議の結果、それぞれ事務局案通り決定された。

引き続き、ホテルアイボリーにおいて懇親会が催された。

第二日は、「徂徠をめぐる諸問題」と「近世後期思想史における民衆」をテーマにパネルディスカッションが行われた。発表者と発表題目およびコーディネーター・コメンテーターは次の通りである。

第一部 「徂徠をめぐる諸問題」

一、法思想史における徂徠

一、徂徠の方法について

一、获生徂徠の思想構成

コーディネーター

コメンテーター

愛知大学 緒形 康

東京大学 平石 直昭

宮城教育大学 本郷 隆盛

東京理科大学 黒住 真彦

帝国女子大学 藤本 雅彦

恵泉女学園大学 澤井 啓一

第二部 「近世後期思想史における民衆」

一、懷徳堂思想と民衆

一、幕末国学と民衆宗教

一、近世後期における民衆観 —— 教化論を中心に ——

コーディネーター

コメンテーター

大阪大学大学院 宮川 康子

日ノ本学園短期大学 桂島 宣弘

光華女子大学 辻本 雅史

甲南大学 宮城 公子

大阪大学 広田 昌希

天理大学 神田 秀雄